

※建物所有者、防火管理者等は以下の内容を必ず確認して下さい。

二酸化炭素消火設備の消火剤誤放出

令和3年4月、東京都新宿区内のマンション地下駐車場において、何らかの原因により二酸化炭素消火設備の消火剤が放出され、**工事作業員4名が死亡する事故が発生**しました。

最近では、令和2年12月に名古屋市内、令和3年1月に東京都港区内において、同様の死亡事故が発生しております。

皆さまの建物では同様の事故を絶対に起こさないよう、次の事項に **ご注意ください**。

起動ボタンは火災又は点検時以外絶対に押させないこと！ **危険！**

1 工事・メンテナンス時

- ・ 誤操作や誤放出を防ぐため、二酸化炭素消火設備を熟知した**消防設備士や消防設備点検資格者を立ち会わせ**、作業時の安全を確保してください。
- ・ 工事作業中は、関係者以外必ず立ち入らないようにしてください。

2 建物利用者等への周知

二酸化炭素消火設備設置場所(地下駐車場等)の利用者に対して、**二酸化炭素の人体に対する危険性、二酸化炭素消火設備の適正な取扱い方法、万が一作動した際の対応方法及び避難方法等**について周知する。

3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合は、**すぐに119番通報を行い、消火剤放出場所には必ず人を立ち入らせない**ようにしてください。

二酸化炭素消火設備についてのQ&A

Q:二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？

A:二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

Q:二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？

A:二酸化炭素消火設備の特徴として、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q:二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？

A:以下の2通りがあります。

- ① 手動起動装置(操作箱)の手動起動ボタンを押すと放出する場合
- ② 自動火災報知設備の感知器の作動と連動して放出する場合

Q:二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？

A:消火剤である二酸化炭素には毒性(麻酔性)があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。

なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。

Q:主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？

A:二酸化炭素消火設備の手動起動装置の手動起動ボタン(下記のフローを参照)を誤って押ししまったために、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。

二酸化炭素消火設備の手動起動フローチャート

